

## 特定非営利活動法人

## アーキペラゴ

### 組織の概要

\* 代表者：理事長 三井 文博  
\* 所在地：高松市兵庫町3番地10  
\* 活動分野：社会教育、まちづくり、  
学術・文化・芸術又はスポーツの振興、  
環境保全、経済活動の活性化、  
活動団体の連絡助言又は援助

\* 活動地区：瀬戸内海を中心  
\* 連絡先 (TEL)：087-811-7707  
\* 連絡先 (FAX)：087-813-1002  
\* HP：http://www.archipelago.or.jp/

## 活動をはじめた「きっかけ」

会の前身である「特定非営利活動法人 INS香川」において、新規事業の起業を考えている個人や事業者に対して、技術面や他機関との連携の支援を行う活動を実施。その過程で、小豆島で農業を行う個人から、販路や商品開発、情報発信に関しての相談を受け、協議を重ねながら、得意とする技術の支援を実施。

その後、瀬戸内海の島々の抱える課題を解決することは全国のモデルケースになると考え、平成21年3月に「アーキペラゴ=多島海・群島」に改名。

## 現在の主な取り組み

### 『瀬戸内海・島・人・未来をつなぐ』 ～原動力のキャッチボールを目指して～

#### \* アーキペラゴ島ゼミ

島の住民が先生となり、来訪者と交流をしながら、島暮らしの「知恵」をおそわる瀬戸内ツーリズムを企画・運営。

#### \* 大豆プロジェクト（支援活動）

豊島で大豆栽培をしている農家の手伝いや味噌や豆腐づくりの体験、また、農家民泊体験も実施。

#### \* 芸術士派遣事業

「芸術士のいる保育所」と題し、高松市内の保育所（園）に、アートを通じた活動経験を有する芸術士の派遣を実施。

#### ▼大豆プロジェクト



#### ▼芸術士のいる保育所



アーキペラゴHPより

## ～活動団体の声～

アーキペラゴの活動を通じて、瀬戸内海を活用した様々な組織が誕生し、活動が展開されている。島と人とのつながりが生まれ、交流が深まっている。

効率化や合理化のために、途絶えてしまった文化や消えてしまった暮らしの「知恵」が、島には残っている。これからも島が抱える様々な課題に、アーキペラゴが持っているノウハウを生かしながら、島の活性化になる種を見つけ、育てていきたいと考えている。